

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：医学部

学年：4年

留学先大学：Durham University(School of Government and International Affairs)

現在の学期：Michaelmas term

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:00-10:00 Capitalism: History and Theory (seminar) 11:00-12:00 French Stage 3 12:00-13:00 International Theory 16:00-17:00 Foundations of Western Political Thought
火	10:00-11:00 International Theory (seminar) 17:00-18:00 Foundations of Western Political Thought (seminar)
水	9:00-10:00 French Stage 3
木	11:00-12:00 International Organizations 12:00-13:00 Capitalism: History and Theory
金	10:00-11:00 French Stage 3 14:00-15:00 Health, Illness and Society 16:00-17:00 Health, Illness and Society (seminar) 17:00-18:00 International Organizations (seminar)
土・日	

履修科目や近況について

学習面

・ダラム大学の基本情報

授業は基本的に6つのモジュールを選択して通年受講します。各モジュールは毎週のLecture（教員のプレゼンテーションによる講義）と、隔週のSeminar（少人数でのディスカッション）で構成されています。どちらも授業は50分間です。文系の授業では総じて事前の読書課題がかなり多く、ネイティブの学生でも苦戦している様子を見かけます。評価は第3セメスターに行われるテストやエッセイがメインです。

・ International Theory

国際関係論(IR)の授業です。LectureではHierarchy, Anarchy, Realism, Constructivism...といった一般的な理論の理解と批判的な考察を行います。Seminarはディスカッションがメインですが、ロールプレイを通して多様なアクターの間でどのように規範が形成されていくのかを体験したり、談話分析を体験する機会もありました。

・ International Organizations

前期のLectureは総論的な内容を、後期はより具体的な各機関についての学習を行います。SeminarではSovereignty, Liberalism, Regionalismといった国際機関を考える上で重要な様々な視点から、実際の政治問題についてディスカッションを行っています。

・ Foundations of Western Political Thought

政治哲学の授業です。主要な思想家の議論を吟味しつつ、Social Contract, Democracy, Feminismなどの概念について考えていきます。古典的なテキストが読書課題となることが多く、単語や言い回しの理解に苦戦しています。

・ Capitalism: History and Theory

政治経済学の授業です。アダム・スミス、マルクス、ウェーバーなどの様々な理論をもとに資本主義がどのように誕生し発展したのかを考えていきます。世界史に関する考察が非常に多く、ディスカッションでは専門用語が吐嗟に出てこず苦戦することが多々あります。

・ Health, Illness and Society :

医療人類学の授業です。進化生物学や社会学的観点、政治的観点など様々なレベルで病について学際的考察を行います。特に政治的観点は、Political ecology(政治的生態学)やStructural Violence(構造的暴力)といった概念を通して、貧困地域や熱帯地域での医療問題を国際的な政治構造、社会構造から正しく理解しようとする非常に興味深い内容です。

生活面

カレッジ制度

ダラム大学はカレッジ制度を採用しています。カレッジ制の大学は世界でも少数ですが、『ハリーポッター』の寮を想像していただけるとわかりやすいかと思います。日常生活、寮、サークル、フォーマルディナーなどのイベントの多くがカレッジごとに行われますが、授業はカレッジに関係なく行われます。

どの寮にもビリヤード台、ピアノなどが自由に使えるCommon Roomの他、パブ、ジムなども併設されています。



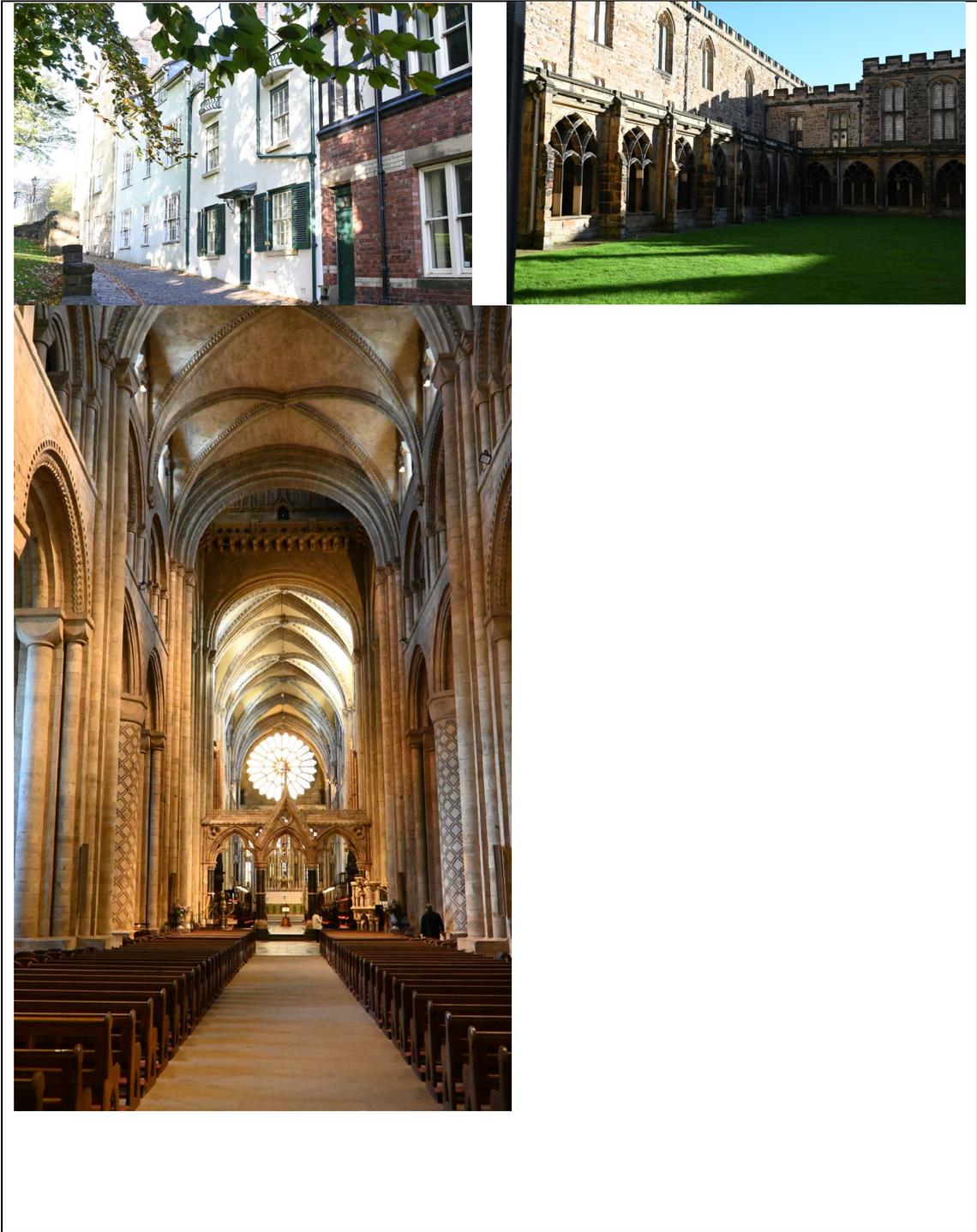
ソサイエティ

いわゆるサークルです。私は Running Society, French Society, Japanese Society, Astronomy Society に参加しています。



街

学生街なので治安は比較的良いです。スーパーや飲食店も比較的コンパクトにまとまっており便利です。ロンドンからは遠いですが、都会的な騒がしさがさほどなく穏やかな生活が送れると思います。街の中心には世界遺産のダラム大聖堂があり、帰宅途中にしばしば訪れています。歴史的な建造物が多く、非常に美しい街並みです。



海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属： School of Government and International Affairs

学年：4年

留学先大学：Durham University

現在の学期：Epiphany term

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:00-10:00 Capitalism: History and Theory (seminar) 12:00-13:00 International Theory 16:00-17:00 Foundations of Western Political Thought
火	10:00-11:00 International Theory (seminar) 17:00-18:00 Foundations of Western Political Thought (seminar)
水	
木	11:00-12:00 International Organisations 12:00-13:00 Capitalism: History and Theory
金	14:00-15:00 Health, Illness and Society 16:00-17:00 Health, Illness and Society (seminar) 17:00-18:00 International Organisations (seminar)
土・日	

履修科目や近況について

学習面

ダラム大学は通年の授業がほとんどなので、学習内容に前学期との大きな変化はありません。成績評価の大部分は学年末の Summative Essay で決まるため、今学期はそれに向けて準備を進めていく段階です。

私は主に2年生の授業を受講しています。イギリスの大学は3年制なので、2年生は学位論文に向けてアカデミックライティングの実践をする時期でもあります。そのため、社会科学分野におけるエッセイの書き方も詳しく学ぶことができます。ダラム大学ではどの教科も練習のエッセイを提出する機会があり、採点と詳細なフィードバックを得ることができます。

ダラム大学は大学の図書館や寮の図書館、食堂など様々な場所で自習ができるので、なんとか飽きずに課題をこなせています。ダラム城の大ホールは雰囲気がよくお気に入りの自習場所です。



生活面

・冬休み

イギリスやその他ヨーロッパの国の学生は基本的に自宅に帰宅してしまうため、友人に会う機会が少なくなります。寮ではやることなく退屈ですが、クリスマスシーズンということもあり皆旅行を楽しんでいました。私はオーストリアにいる旧友の家に遊びに行きました。



年末は寮に残っている友人とクリスマスパーティーと年越し蕎麦を行いました。



・今学期の寮生活

全学期と比べて寮や大学主催のイベントが比較的少ないので、決まった友人と集まることが多くなってきました。一緒にジムやパブに行ったり、友人の部屋に集まってオリンピックを見たりしています。

とはいえサークルなどの活動は年度の途中からでも参加できることも多く、新しい友人を積極的に作っている知り合いもいます。